

③部活動地域展開に関するQ&A



活動場所・時間・移動は？

中学校を基本とし、公共施設などを使用します。活動時間は学校の部活動と変わりません。これまでのガイドラインに則り、3時間の活動となります(大会除く)。
活動場所までの移動については、徒歩、自転車、公共交通機関を利用します。

平日の部活動は？

これまで通り、教員(顧問)による指導が基本となり、休日の地域クラブ活動指導者と連携を図りながら、部活動運営を行います。平日の部活動顧問と休日の地域クラブ活動指導者は、互いに連携して生徒(参加者)に対する適切な指導に努めます。

大会・コンクールの参加は？

将来的に地域クラブ活動として参加することになりますが、令和7年度は部活動として参加します(運動部活動は中学校体育連盟主催大会の場合)。現時点での考え方は次の通りです。

- 令和7年度：部活動で参加
- 令和8年度：環境が整った種目は地域クラブ活動で参加する場合あり。
- 令和9～10年度：地域クラブ活動で参加

指導者は？

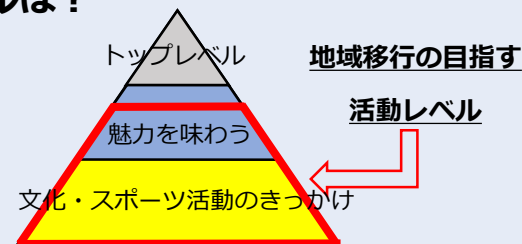
地域の指導者が担います。地域の指導者とは、文化・スポーツ団体に所属している方、競技経験がある方など様々です(教員の兼職兼業も含む)。管理・運営団体は、指導者に向けに安全面やハラスメント、救急方法等の研修を行う予定です。

ケガ等への対応は？

学校の活動ではなくなるので、現在の部活動に適用している保険は利用できません。運営団体による保険加入が必要となり、「スポーツ安全保険」を想定しています。

地域クラブ活動の目指すレベルは？

全国大会や世界大会を目指すようなトップレベルを目指すクラブではなく、文化・スポーツ活動のきっかけや、それぞれの活動の魅力を体感することを主な目的として活動する地域クラブ活動を目指します。



ホームページ



ご質問専用フォーム

我孫子市教育委員会

休日の部活動が変わります！

我孫子市

～中学校の休日部活動の地域展開について～



①部活動の“地域”展開とは？

中学校の教員が「顧問」として担ってきた部活動の指導を、地域の指導者やクラブ・団体など地域全体で支える活動に展開することです。子どもたちが多様な活動を体験できる機会と、少子化の中でも将来にわたり活動を継続してできる環境を確保するため、国が令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」として進めるとしています。また、令和8年度から令和13年度は「改革実行期間」に位置付けられる予定で、平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整するとしています。現在の予定では、令和8年度に全ての休日部活動の地域展開を目指します。

地域とは？

学校・行政・大学・文化団体・スポーツ団体・市民・企業などを指すものです。子どもたちの活動を地域全体で支えることが求められています。

「地域展開」に名称が変更

国より、地域全体で連携するというをよりの確に表すことを目的に、これまでの「地域移行」から「地域展開」へ名称を変更する考えが示されました。本市においても令和7年度より「地域展開」として取り組みます。

休日
が対象

なぜ地域展開が必要なの？

- 少子化によって部活動が成り立たない・・・
 - ・チーム練習ができない
 - ・大会やコンクールに参加できない
- 生徒の多様なニーズ・・・
 - ・専門的な指導を受けたい
 - ・学校にやりたい部活動がない
- 教員の負担・・・
 - ・未経験でも指導する負担
 - ・平日・休日の部活動による長時間勤務

- ・部活動を学校だけで維持していくことが困難に・・・
- ・文化、スポーツ活動に継続的に親しめ、持続可能な活動環境の提供が必要

部活動と地域クラブ活動の違い

	部活動(R5まで)	地域クラブ活動(R8から)
指導者	学校の教員(部活動指導員)	地域の指導者(教員の兼職兼業を含む)
活動場所	在籍する学校	市内の学校及び公共施設
運営主体	学校	文化・スポーツ団体、NPO、民間企業、行政など
メリット	・生徒指導上の安心感 ・指導方針の一貫性	・やりたいクラブを選択できる ・専門性の高い指導を受けられる ・団体競技を維持することができる
デメリット	・やりたい部活動が無い場合がある ・専門性を有しない指導の場合がある ・少子化でチームを組めない ・教員の負担が大きい	・平日の顧問との指導体制の一貫性 ・保護者の経済的負担 ・活動場所がこれまでより遠くなる場合がある

②令和7年度の取り組み



主な取り組み

9月開始予定

全中学校を対象に実証事業を行います



10月開始予定

マルチ活動に取り組みます



管理運営体制の検討を行います



●実証事業の概要

全学校を対象に地域クラブ活動への展開を進めます。これまで教員が学校管理下のもと顧問として指導を担っていましたが、地域クラブ活動では、「地域の指導者」が指導を担います。

主な変更点

	部活	地域クラブ
指導者	顧問（教員）、部活動指導員	地域の指導者、教員の兼職兼業
連絡方法	顧問（教員）	地域の指導者（連絡用アプリを活用）
活動場所	通学している学校	近隣の学校や公共施設になる場合がある

対象活動（予定）

継続 陸上、卓球（白山中学校のみ）※他校についても検討状況によって合同練習等から開始する場合があります。

新規 ソフトボール、ソフトテニス、サッカー、合唱（全中学校対象）

※現時点の予定であり、変更となる場合があります。

※令和8年度に向けて、上記の活動以外でも合同練習などの取り組みを行う場合があります。

活動開始までの流れ

4月～6月

- ・学校、顧問、関係機関調整
- ・地域指導者調整

7月～8月

- ・保護者説明会（予定）
- ・指導者講習会

9月～3月

- ・活動期間（クラブ活動、クラブ活動に向けた合同練習など）

●マルチ活動について

部活動にないスポーツ種目や文化活動を体験する「マルチ活動」を新たに展開します。令和6年度に実施した「ブカツ未来アクション」では、様々なスポーツ種目のトップアスリートによる指導や専門家による座学（保護者も参加可）を行いました。令和7年度のマルチ活動では、ブカツ未来アクションの定例化を目指し、様々なプログラムを実施する予定です。

※一部の活動については有料で実施予定

【活動の一例】

	月	火	...	土	日
1W	部活	部活	部活	バドミントン	-
2W	部活	部活	部活	ダンス	-
3W	部活	部活	部活	ラグビー	-
4W	部活	部活	部活	文化活動	-

多様な経験によって能力が向上！？

複数の異なる活動を行うことで、身体的、精神的にさまざまな効果が期待されます。例えば、異なるスポーツをすることで、全身の筋肉をバランスよく鍛えられたり、柔軟性の向上など、総合的な能力の向上が期待できます。

これまでの部活動に無い活動を予定！

ダンス、バドミントン、ラグビー、日本舞踊、短歌、俳句、謡曲、詩吟、太鼓など様々な種目を展開予定！

※記載している種目は一例であり、実施が決定しているものではありません。

●管理運営体制の検討

これまでの部活動は、学校の管理下で行われていましたが、地域クラブ活動では、地域全体で文化・スポーツ活動を支えることになります。

持続可能な活動体制を築くには、地域クラブ活動全体を統括する「管理・運営団体」の役割が重要となります。令和7年度は、将来にわたって持続可能な体制を構築できる体制の検討を行います。

管理・運営体制のイメージ図

